

神奈川県の宇宙関連産業の振興に関する連携と協力に関する協定書の締結について

神奈川県（知事：黒岩 祐治）、相模原市（市長：本村 賢太郎）、及び国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（宇宙科学研究所長：藤本 正樹、以下「JAXA」）は、神奈川県内の宇宙関連産業クラスターの形成強化を促進し、産業基盤の強化を図るとともに、リニア中央新幹線神奈川県駅（仮称）周辺のまちづくりを見据え、相模原市域を中心とした宇宙関連産業の集積及び振興、並びに宇宙科学研究所の研究開発成果の普及啓発及び地域振興を通じた宇宙科学探査に対する意識醸成を推進することを目的として、令和7年8月22日に連携協力協定を締結いたしましたので、お知らせいたします。



1. 連携及び協力する事項

- （１）県内企業の宇宙関連産業への参入及び共創の促進
- （２）宇宙関連企業の企業誘致の促進及び起業の支援
- （３）企業・自治体・学術機関の連携促進
- （４）国際連携・地域振興・観光への貢献
- （５）広報普及活動、宇宙に関する教育啓発活動及びイベントの実施
- （６）その他前条の目的を達成するために必要な事項

2. 取組内容と経緯

■神奈川県の取組

- ・宇宙関連産業クラスター形成強化に向けて、今後成長が期待される宇宙関連産業への県内企業等の参入促進を図るため、宇宙関連企業等と交流できる拠点を整備するとともに、機運醸成や多様な企業間の連携強化を図るビジネスカンファレンス（宇宙サミット）を実施します。また、衛星データを活用するプロジェクトに取り組む企業への支援や神奈川県の宇宙応援アンバサダーに就任した「宇宙なんちゃらこてつくん」を活用して宇宙関連の広報及び啓発等を実施しています。



■相模原市の取組

- ・スタートアップ支援事業である「相模原アクセラレーションプログラム」において、JAXA宇宙探査イノベーションハブと連携した実証フィールド活用やJAXA発ベンチャーの支援を実施しました（いずれも令和6年度）。今年度より開始する「相模原市・橋本駅を中心とした広域スタートアップ支援ネットワーク形成事業」においても宇宙産業をはじめとした技術系ベンチャー・スタートアップの支援プログラムの実施を予定しています。また、企業立地奨励金制度「STEP50」では、航空宇宙産業を「リーディング産業」に位置づけ、土地・家屋の取得に対して最大20%の奨励金を交付するなど、航空宇宙産業の立地を強力に支援しています。



イノベーション創出に係る相模原市の各種事業

■JAXAの取組

- ・神奈川県及び相模原市と連携して、JAXA相模原キャンパス展示施設の利活用のみならず、県内イベントへの協力、宇宙科学探査への探求・研究開発成果の普及、ロケット打上げや探査ミッションの中継パブリックビューイング等により、県民、市民への宇宙に対する意識醸成等を図ります。



3. 今後の展開

JAXAが持つ知見やノウハウ、これまでの成果を活用させていただき、自治体を持つ非宇宙企業とのネットワークや、県民、市民の皆さまに対するアピールの場を提供することで、宇宙関連産業への新規参入や共創、機運醸成、人材育成等を促進していきます。

【問合せ先】

環境経済局経済部地域経済政策課 課長 小泉

042-707-7542